

学籍番号： 4312100069

氏名：石橋 まりか

実習先：硫黄島・竹島

実習期間：平成29年6月16日～6月22日

### 【自然環境】

薩南諸島北部に位置する島である。

硫黄島：

東は太平洋、西は東シナ海に臨み、黒潮の影響を受ける三島村の気候は、極めて温暖な亜熱帯的の海洋性気候である。一方、夏場は台風の進路にあたり、冬場は季節風の影響を強く受けるため、四季を通じて風害や潮害が大きい。雨量は月間平均で約370mm程度となっている。

竹島：

鹿児島本土から94km離れた所（薩摩半島から50kmほど）に位置し、面積は4.20km<sup>2</sup>、周囲12.8km、最高峰はマゴメ山（標高220m）である。



### 【社会的背景】

硫黄島の人口は114人、竹島の人口は78人である。硫黄島も竹島も高校がないため、若い世代が少ないように感じた。椿、つつじ、車輪海の原生林や、道路まで放し飼いの孔雀が散歩するのどかな風景が見られる。畜産と漁業を主な産業としている。

### 【住民の生活】

温泉や名所旧跡など豊富な資源を生かした観光も盛んな島で、島の北東部には、現在も盛んに噴煙をあげる活火山、硫黄岳（703m）がそびえ、名前のとおり岩肌一面に硫黄を噴出している。また、島のいたるところから温泉が湧き、流れ出た温泉と硫黄が黄緑色や赤色に海の色を染め、海岸沿いに湧き出た露天風呂は、皮膚病に絶大な効果のある、日本名湯百選にも選ばれる名泉である。

港に船が到着すると、ジャンベの演奏と踊りで出迎えてくれた。診療後、島内を散歩しているとジャンベスクールの方たちに会い、一緒に記念撮影をした。硫黄島を離れるときにも、演奏と踊りで見送りしてもらった。

竹島は、大名タケノコがたくさん採れる。私たちが竹島に行ったときはちょうど収穫の時期で、民宿でのご飯では採れたてのタケノコをたくさんいただいた。

オンボ崎から見える夕日はとてもきれいで、とても感動した。

竹島は漁業も盛んで、新鮮な魚もたくさんいただいた。お昼休みに釣りをして、自分たちで釣った魚をさばいてお刺身やから揚げにして食べることもできた。

どちらの島もとても自然が豊かで、普段経験できないような体験がたくさんできた。



【医療供給体制】

島内には看護師さんがおり、診療所内にあるカメラを使って、遠隔診療を行うこともある。

看護師さんは島内の高齢者の方の健康状態を管理するため、こまめに連絡をとったり、気になる方に対しては自宅まで訪問したりしていた。

診療所内には血圧の測定器があり、高齢者の方が血圧を測りに来ていた。

血圧がとても高い方の脈を測った時に「水分が足りていない。水をあまり飲んでいないでしょ？ これじゃ脱水して、熱中症になるよ。」と声をかけていて、こうした指導はとても大事だと感じた。

【実習概要】

日付	内容
6/16	就学前検診 齲蝕処置 知覚過敏処置
6/17	就学前検診 義歯調整 感染根管治療
6/18	知覚過敏処置 義歯調整
6/19	就学前検診 齲蝕処置 義歯調整



### 【振り返り記録】

コンテナに積んだ荷物を体育館や診療所に運び、設置するところから自分たちで行いましたが、普段いかに設備の整った環境で診療を行うことができるかを実感しました。

コントラやタービンを使うときの注水で必要な水も、1回の補給で500ml程度しかできないので、全体的にスケーリングを行ったらすぐに水が足りなくなりました。バキュームで吸引した水をためるタンクも気付いたらいっぱいになっていました。

チェアが自動で起き上がらなかったり、うがいするためのスピットンがなかったり、普段当たり前だと思っていることが、当たり前ではなく不便に思うこともありましたが、限られた設備のなかで工夫していかに診療しやすい環境にするかについて深く考えるきっかけとなりました。

島の方たちの口腔内はとてもきれいで、驚きでした。島にはコンビニや大きなスーパーがなく、竹島には自動販売機もなかったため、お菓子をだらだら食べたり、ジュースを好きな時に飲んだりするような習慣はあまりないのではないかと思います。齲蝕処置をきちんと受けていたり、シーラントも施されており、歯科に対する関心も高いように感じました。

義歯洗浄剤があることを認識していない高齢者もおられたので、口腔ケアの商品があることをもっと島の人たちに知ってもらわなければならないと思いました。